

式 辞

ここ万葉の里にも春が訪れ、桜は満開です。

この好き日に、御参集の皆さんの前で、わたくしは仁愛大学
学長といたしまして、文部科学省の認可に基づき、ビジネス
コミュニケーション学部の新設を宣言いたします。

また、合わせて人間学部心理学科の心理学部への昇格、そ
して、人間生活学部の栄養・子ども学部への名称変更と拡充、
そして、大学院人間学研究科を心理学研究科に名称変更した
ことをご報告いたします。

この新しい学部編成の中で

越前市長

平林 透様

越前市議会議長代理・副議長

大久保 恵子様

本学同窓会世灯会会長

波多野 翼様

の御臨席を賜り、ここに入学式を挙行いたします。

心理学部

心理学科

77名

ビジネスコミュニケーション学部
ビジネスコミュニケー
ション学科

84名

栄養・子ども学部 健康栄養学科	46名
子ども教育学科	60名
計	267名
人間学部心理学科編入生	2名
人間学部コミュニケーション学科編入生	2名
人間生活学部健康栄養学科編入生	2名
大学院心理学研究科臨床心理専攻	13名

以上の入学及び編入学を認定いたします。

新たに仁愛大学の学生・大学院生となられた皆さん、ご入学おめでとうございます。また、御参席の保護者の方々にもこの場より心からお慶び申し上げます。併せて、今後の本学の教育・研究・地域連携などにつきまして一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本学は「仁愛」という大学名が示す通り、『仏説無量寿経』の「慈恵博く施し、仁愛兼ねて済う」ということを建学の精神にしております。平易に言えば、

「互いに〈いのち〉を尊び、共生社会の実現を目指し(仁愛)、世を照らす灯となって、それを実践する(兼済)。」

ということです。そして、そのことを教育の根本にしております。仏教の教義は哲学であります。

昨今、「宗教」と言うと「カルト宗教」と同一視され、「危ない物」と見られることが多いです。本来的普遍宗教は、例えば仏教の「^{げだつ}解脱」という言葉が示すように、自分を縛って苦の原因となっている価値観を解き脱ぐ、つまり、心を開放するものです。そして、本来的自己を取り戻して、心の平安を得るものです。

それに対して、カルトとは、非科学的教義に基づくか、或いは、本来の宗教の教義を利用して、マインドコントロールして教祖に服従させ、教団の利益追求を行うものです。皆さんは、本学での学びで、高度な教養として、宗教の何たるかを学んでいただきます。それは、宗教リテラシーであり、危険なカルト宗教に陥らないようにしていただくためにもたいへん重要であります。

本学では、普段の学びとして学内各所に「ソウルメイキングキャンパス」と題して、自己の生き方を問いかけるやさしい標語を掲げています。過去に掲示された言葉から二、三ご

紹介します。

「知っている」「わかっている」という壁があなたを閉じ込めているのです。

「賢い人」は、「知っている」「わかっている」と言って、聞く耳を持たない。一人よがりの思い込みで、わかったつもりでいるのです。そこに壁ができています。それが、自身の視野を狭くしているのです。

「迷信」という信があるのではない。私の信が迷っていたのです。

人は迷信という他者の信が、私を迷わせていると思う。しかし、実は、私が確かなものを知らないので、迷っていただけなのです。迷いの原因は、私の心の中にあるのです。私の信念が定まっていなかっただけです。確固たる信念がないから迷うのです。確固たる信念を確立し、何物にも迷わない独立者になったとき、「あなた」は「あなた」になるのです。

本当にきれいな色は、あなた色です。

新入生のみなさん、初めて会う友達も、賢そうで立派に見えるかもしれませんがね。比べず、焦らず、そのままで。あな

たはあなたであればいいのです。あなたの良さに気づいてください。本当にきれいな色は、「あなた色」です。さあ、あなたらしく堂々と・・・。

皆さんが、それぞれの分野の高度な専門的知識とスキルを修得するとともに、心の通った人間性を培う。それが本学です。正門に「美^{うるわ}しい世を拓く灯となるために」と書かれています。「美しい世」とは、そのような「心の通った豊かな世」という意味です。

最後になりますが、本学は地元地域との関係が密接な大学です。「地域共創センター」を中心に、全学的に地域連携を推進する体制を取っております。多文化共生、駅前サテライトなど、これまでの先輩諸君の活動は、インターネットや新聞、テレビなどのメディアをとおして広く伝えられております。これらの活動をとおして、多様な人間関係を学び、また企画力、マネジメント能力を養うことができます。

今後とも、地域のご支援をいただき、連携事業をさらに進めてまいります。福井県、越前市のご協力に感謝するとともに、諸君が本学で充実したキャンパスライフを送り、立派に

成長されますことと、一層ご活躍されますことを念じまして
式辞といたします。

令和八年四月三日

仁愛大学学長 田代俊孝